

プロフェッショナルのためのニュースレター「ドミノ」

DOMINO

Bayer Pest Management

2007. 10

VOL. 4

●アメリカ  業界情報

駆除業者への警告

●検 証

～今や業界標準～

マックスフォース、日本で15年!!

●誌上セミナー

化学物質過敏症は精神疾患?

●Top News

来年3月、東京・名古屋・大阪・福岡で開催予定

バイエルしろありセミナー

ハチクサン&アジェンダ

街路樹・生立木などへの防除法

ハチクサンのマイクロカプセル剤

ハチクサン[®] MC 来年発売

本年6月、弊社生活環境製品部部長

日本木材保存剤工業会 会長に就任

巻頭特集

近年における
世界の害虫・防蟻市場

ハチクサン摂取で土壌細菌に襲われたシロアリ(バイエル エンバイロサイエンスUSA提供)

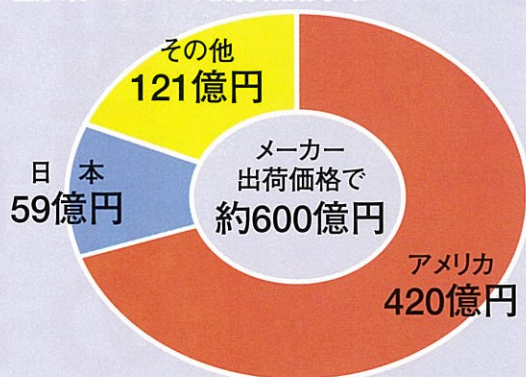


Bayer Environmental Science

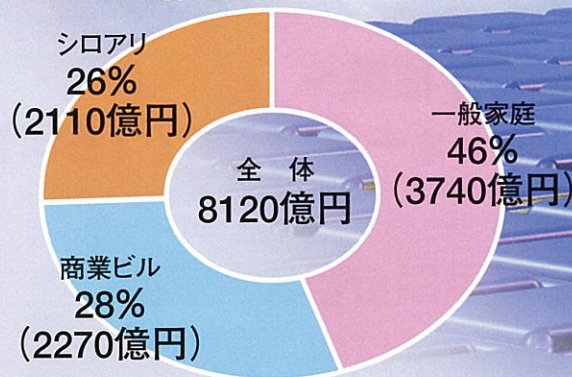
近年における世

今年3月に開催のバイエルシロアリセミナーで説明いたしました市場動向です。アメリカでは、一般家屋での防除業者による害虫駆除の売上が3740億円あり、シロアリ防除も含めると一般家屋での売上が5850億という巨大な市場があります。日本では、一般家屋でのシロアリ防除は約600億円前後といわれておりますが、一般害虫駆除に関しては自分でホームセンター・薬局などで殺虫剤を購入して済ませていますので防除業者の活躍する場は殆どないのが現状です。アルゼンチンアリ・ウエストナイルなどでの市場に期待せざるを得ないのでしょうか？

■世界のシロアリ防除薬剤市場



■アメリカでの防除業者売上

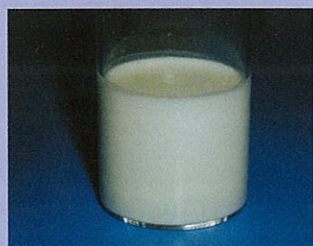


アメリカでの2005年シロアリ市場

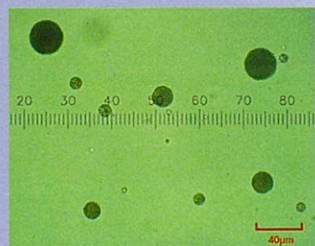
- 業界は、再施工・再発の少ない信頼の置ける防除薬剤・システムで成長を持続
- ベイトの新規設置は急速に減少
- 既設物件での非忌避性薬剤を主体とした外周処理での液剤使用が増加
- その外周処理は液剤処理のうち43%を占めた(2003年は34%であった)
- 既設予防・駆除工事は約百万棟強
- 新築戸建住宅の68%にあたる87万5千棟に予防処理
- 新築住宅の住宅メーカーによるシロアリ保証は一年のみ
- 2005年と2006年の羽蟻の発生は少なかったが防除業界は効率のよい外周処理で伸長

トピックス 1 ハチクサンのマイクロカプセル剤「ハチクサンMC」、来年発売に向け開発中!!

平素より皆様にご愛顧いただいておりますバイエルクロップサイエンスの白蟻防除剤“ハチクサン”の新規製剤であるマイクロカプセルの“ハチクサンMC”を開発し、来年度の上市に向けて開発を順調に進めています。ハチクサンMCは、ハチクサンのシロアリへの確かな効き目はそのまま、右のような特徴を有している製品です。



ハチクサンMC製剤 (12%原液)



ハチクサンMC150倍希釈液の顕微鏡写真

<ハチクサンMCの特徴>

- 有効成分としてイミダクロプリドを12%含有しており、高い効果と安全性を兼ね備え、これまでの確かな実績と併せて、安心してご使用いただけます。
- MC製剤ですが水への分散性も非常に良く、ハチクサンFLと同様な希釈作業でご使用いただけます。
- 150倍の希釈倍率で、薬剤調製作業も比較的簡便に行えます。
- 水で150倍に希釈して処理しますので、希釈液の臭いも殆ど気になりません。
- 厚生労働省が定めたVOC (揮発性有機化合物) の13物質 (ホルムアルデヒドなど) を使用しておりません。
- 平成19年9月現在、普通物化に向けて、劇物除外申請中です。
- 耐高アルカリ性に優れていますので、適用範囲が広がります。

世界の害虫・防蟻市場



トピックス 2 各種シロアリ駆除に威力を発揮するアジェンダフォーム

ヤマトシロアリ駆除部分施工

2006年7月、築80年を超える物件にアジェンダフォームを使って駆除を試み、1ヵ月後の評価に加えて、今年の羽アリの発生の有無を駆除完了の指標としました。処理当時は、アジェンダフォームを1本使っており、1ヵ月後の評価でもシロアリの活動はありませんでした。そして、迎えた2007年の羽アリ発生シーズンですが、結果は右のとおりとなりました。



写真のようなハンドスプレーセットもご提供しております。詳しくは、販売代理店へお問い合わせください。

< 処理翌年の結果 >

- ◆毎年、発生していた羽アリが処理後の翌年（2007年）、発生しなかった。
- ◆ターマトラックによる調査の結果、その被害箇所には活動は無かった。
- ◆処理後、1ヶ月の調査では蟻道の再構築は認められなかったが、約1年後の調査で、部分的ではあるが蟻土をつけた形跡があった。これは、処理後、残蟻が被害箇所へ戻り再構築したと考えられ、現在、活動が認められないことから残蟻に対してもドミノ効果が発揮されたと考えられた。
- ◆新たな被害箇所も認められなかった。

ハチクサンのシロアリ体内への蓄積がドミノ効果を発揮!!

放射性化合物 ^{14}C を使用してハチクサンのドミノ効果を証明しましたが、この実証試験ではもう一つの知見が得られています。それは、シロアリの体表に付いたハチクサンは最初グルーミングなどで



次の仲間に伝播され、その仲間の排泄物を摂取することなど食物交換で2次・3次伝播されるということです。

それらのシロアリのハチクサンの量を測定したところ、ハチクサン処理砂上に23日間放置したシロアリを分析した結果、体表からは8～17ピコグラムが検出されましたが、体内では約50倍の557～574ピコグラムという高い濃度が検出されました。

ハチクサンを摂取してもシロアリは直ちに死なず徐々に体内に取り込まれながら他の仲間に2次・3次伝播させより多くのシロアリの体内にハチクサンが蓄積されることにより、強いドミノ効果を発揮するわけです。



トコジラミ=南京虫=Bed Bug 「ホテルでの防除は充分に注意！」

ケンタッキー大学のポッター教授は、トコジラミ被害の現状と、防除業界としての対応を次のように述べている。

「合衆国ではトコジラミは稀であったが、いまやアジア・中南米・ヨーロッパをふくめ外国旅行・移民などにより、大都市だけでなく全国的に被害が広がっている。過去10年、防除業界は問題のないところには薬剤使用を抑える・しないとしていたがトコジラミには例外である。居住空間での薬剤使用には充分気を付けねばならないが、トコジラミは薬剤の届きにくい隙間など至る所に生息しているので、徹底した防除と管理・追跡が

必要とされる。さらにこの虫はシロアリと同様かそれ以上に情報収集能力に優れているため簡単には防除できないので、顧客への説明にはより注意が必要である」

トコジラミは駆除が難しいことから訴訟に発展することがあり、この点について同教授は“ホテル側だけではなく、防除業者にも問題が波及する”と警告している。

「ある宿泊者がトコジラミの被害にあったとしてホテルを訴えるとなると、防除会社も巻き込まれる。防除業者はホテルなど顧客との契約内容は、充分に吟味すべきだ」

ホテルでの防除作業（例／ミネソタ州のプランケット防除会社）

調査

トコジラミと確認できたら現場担当者はまず血糞による黒い跡・死骸をチェックし以下の場所を調査します

- マットレス・寝具
- ヘッドボード（それが壁に押し付けてあるなら離してその後ろを調査）
- 照明スタンド（取り外し逆さに見て裂け目とか割れ目を観察）
- 窓・ドア枠・壁と天井および壁と床のつなぎ目（ごく小さな裂け目・隙間が棲家となる）
- カーペットの下・ベッドの下（剥がしたり、外して縫い目・つなぎ目を調査）
- カーテン・ラジオ時計・ベッドランプ

*一部屋の調査が終わったら、必ずその周り（上下・横）の部屋も調査する（被害にあった客が別の部屋にトコジラミとともに移動していることが多いため）。

処理

＜残留噴霧＞カーペット周囲の貼り付け場所、壁との境目の隙間、ホコリの溜まり場を徹底的に
＜掃除機で吸引＞カーペットを掃除機などで
＜燻蒸処理＞ソファや家具を燻蒸する方法もあるが高い
＜廃棄処分＞燻蒸より安い場合がある
＜加熱処理＞ラジオ時計など小物は袋に入れ約60℃で5分

再調査

- (1) 処理一週間後に、トコジラミのいそうな場所に粘着テープでその有無を調査
- (2) 更に念を入れ、ヘッドボードのそばの床に小さな熱板を置き、そのそばに粘着テープを置いて部屋の温度を下げる。これで部屋の中で一番熱の高い場所は熱板であるのでトコジラミがいれば粘着板にトラップされる。

請求額

一時間11,000円前後で、調査・処理・一週間後の再調査費用を含む。一部屋1.5時間ほど。

バイエル社での検証

ホテルの部屋、独身寮・アパート、一般家屋の寝室を試験物件として設営して、大学・防除業者と共にトコジラミの事前調査はどうすべきかを検証しました。その結果は——

- 徹底調査は不可欠であるが実際の部屋の乱雑さを見るとその難しさがある
- 現場作業者と室内の物品所有者との責任関係があるので、二人で作業することと室内に入る場合は居住者に常時同行してもらう
- 家財道具の移動・衣類などの袋詰めを二人で行う。一人で家財を動かすとトコジラミまでうごかすこと

になりかねぬ。トコジラミの棲家はそのままにしておくこと。

- 2～3時間で調査を終えようとしてもすべての家財道具などを動かす・運び出すのはその時間内ではできないので、時間的余裕を持ってなおかつ手順を間違わぬこと
- トコジラミがいるという確証があるまでは、居住者に存在の有無は告げぬこと
- 作業靴はトコジラミ専用にし作業後直ちに殺虫処理をしておく

以上のようなことが必要です。

トコジラミの生態

トコジラミは体長5～8ミリで、幼虫も成虫もヒトの血液を餌とし、夜間に出てきて吸血する。メスは1日に最大12個産卵（6～17日で孵化）し、一生で約200個産卵する。21℃で40匹を6ヶ月間飼育した結果、5,905匹に増えたという報告もある。刺されるとボツボツと腫れ、それが3個以上列になっていて、その腫れの中心には赤い斑点がないのが特徴。



（出典：ネイチャー誌）



へえ～
知らなかった!!

なるほどひとくちメモ「トコジラミ被害が拡大中」

かつて昭和初期に「神戸名物・南京虫」と呼ばれたことがある「トコジラミ」。日本でもおなじみのこの害虫に刺される被害が最近、増加の傾向にある。たとえば、ロンドンのホテルは宿泊客に訴えられて何億円もの賠償金を支払い、オーストラリア・ヨーロッパ・アメリカでも外国旅行あるいは移民が増えるに従い、被害が拡大しつつあるという。

ちなみに、トコジラミの発見には検知犬を使う場合もある。犬の嗅覚はヒトの20～40倍もあり、ヒトが30分かかってトコジラミを探ところを、なんと検知犬はわずか2分で探し出す。ただし、犬はそれなりの訓練が必要である上、よく訓練されていても1日6時間の作業が精一杯で、それ以上は正確度が下がると言われている。



～今や業界標準～ マックスフォース、日本で15年!!

「マックスフォース」&「マックスフォース ジェルK」

マックスフォースが日本で本格的に登場した1992年から数えて今年で15年。マックスフォースは日本を始め世界のプロの信頼を勝ち得ているベイト剤の業界標準です。

IPMの推進により調査の重要性が増しています。マックスフォースは従来型の面や空間での処理ではなく、ポイントを絞ったレスケミカルのスポット施工となりますので、調査の重要性が効果や経済性に大きく影響を及ぼします。

モニタリングトラップは10個程度が一番良いようです。トラップ数が多いという訳ではなく、モニタリングトラップにかからない(捕獲ゼロの)トラップが多いと算出されるゴキブリ指数が低くなり、現状を反映しないということにもなります。モニタリングトラップの成否がマックスフォースジェルKの効果を大きく左右します。下の写真は厨房でのモニタリングの代表的な結

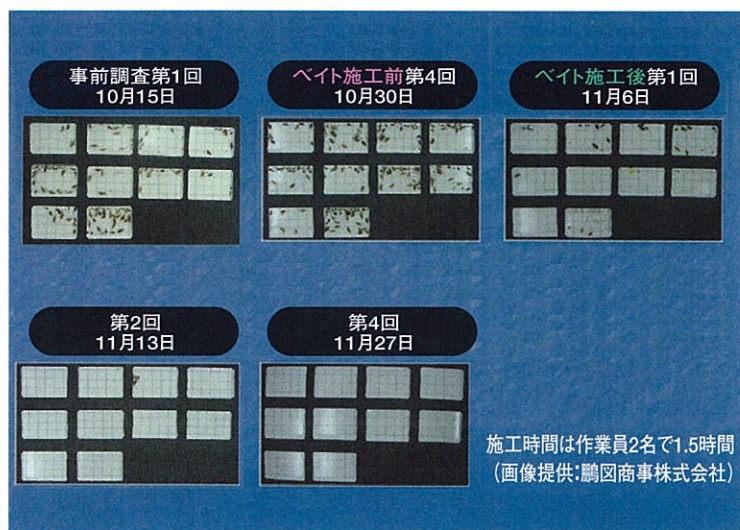
果の一例です。ゴキブリ指数の推移をグラフにすれば効果が目で分かり、記録として保管できます。マックスフォースジェルKの施工によりゴキブリ指数がゼロに近づくことが立証されています。

ゴキブリ防除は薬剤散布型から調査・記録・管理型に移行しています。マックスフォースジェルKによる施工は、モニタリング調査を十分に行った後のスポット処理であるので、環境中に暴露される化学物質量を大幅に抑えることができます。マックスフォースジェルKはゴキブリを有効成分ヒドrameチルノンの運び屋として利用し、「ドミノ効果」と呼ばれる伝播効果で少量で摂食した個体のみならず有効成分の届きにくいコロニー全体を駆除できるという副次的効果が期待できます。

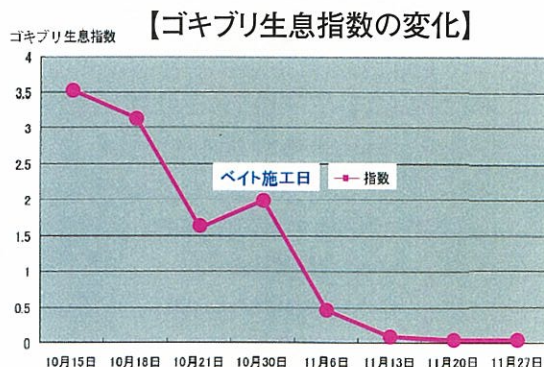
マックスフォースジェルKに代表されるヒドrameチルノンは哺乳類ではほとんどが体内で代謝されずにそのまま排泄されます。神

経毒ではないので万一誤食した場合でも中毒症状が発現する恐れはありません。再施工する時は、ジェル剤の食べ尽くされた箇所のみ処理するため、液剤処理と比べて経済性があり、施工・メンテナンスのしやすさで作業性も向上します。また施工中、施工直後でも入室できるので夜間や休日でも施工できるメリットがあります。ゴキブリは立体的に活動する昆虫であり、高さ方向への施工はマックスフォースジェルKが得意な場面です。多くの特長を備えた環境にやさしいマックスフォースジェルKがIPMにおけるゴキブリ駆除の主流になることが期待されます。

今年で15年。業界標準のマックスフォースジェルK。これからもマックスフォースジェルKを第一選択薬としてお考えください。



10個のモニタリングトラップの捕獲状況を写真におさめたもの。マックスフォースジェルKの施工前と施工後でゴキブリの捕獲に差が見られる。



中古住宅購入後の白蟻被害——隠れた瑕疵!!

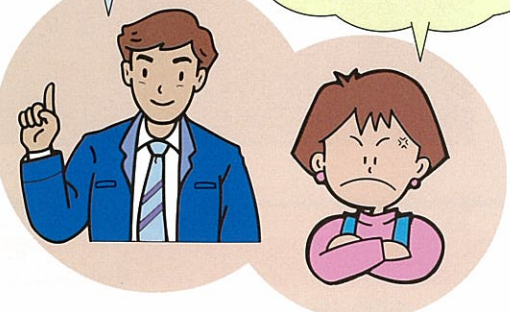
中古住宅を購入し住み始めて半年たった頃、白蟻の被害に気づきました。この場合、この補修費用・防除工事の代金は誰が負担すべきなのでしょうか？

この場合、売主が白蟻被害が現実にあるのを知っていてそれを隠して売った場合は売主の責任ですが、受け渡し時点で白蟻の被害に双方気が付いていなかった場合でも“隠れた

瑕疵”でその補修費用・防除費用は売主負担

アメリカでは
防除工事をして
からでないと
中古家屋の販売が
できません

日本でも
はっきりしたルールが
必要じゃないかしら



となります。隠れた瑕疵に関しては通常買主が事実を知った時から一年以内であれば請求・契約の解除ができますが、この場合、いつ白蟻が侵入し、いつの時点で白蟻が加害し始めたかなど難しい問題があります。契約時に白蟻被害の有無・シロアリ防除工事をする・その工事代金は誰が負担するなど明記すべきでしょう。

アメリカでは、白蟻被害のある州では中古家屋の売買時には売主・不動産会社が防除工事をしてからでないと販売できぬという州の法律があります。

日本では、住宅金融支援機構（旧住宅金融公庫）の仕様書には、“住宅ローンを受ける場合は、目視でシロアリの蟻道・被害がないこと”と明記はされていますが、目視で確認された場合はどうするのか・誰が防除工事の経費負担をするのかが明文化されていません。日本でもアメリカのように、中古住宅の販売前に売主が防除工事を完了しておくという法律の下での売買が行われるよう業界挙げて努力すべきと考えます。

マックスフォース米国最新情報

マックスフォースFCマグナム、新開発!

ベイト剤での難防除現場に遭遇した米国の多くの害虫駆除業者の協力を得て、マックスフォースの研究者たちは害虫駆除業者のベイト剤に対する新規ニーズを把握し、それに対応してきました。今夏、次世代の、速効性に富み、パワーのあるジェル剤マックスフォースFCマグナムが開発されました。マックスフォースFCマグナムは、難防除のチャバネゴキブリを駆除するだけでなく、大型種のゴキブリにも効果的に作用します。

マックスフォースFCマグナムはフィプロニルを0.05%に増量し、新規のベイト処方に組み替えたため、①摂食、②接触および③ドミノ効果のトリプルプレーが期待できます。

ゴキブリはこのベイトを摂食しなくても接触で致死します。

忌避性および感受性のいずれのゴキブリに対してもベイトの摂食性が改善されています。

ゴキブリはもはやベイト剤を食べなくても致死するので害虫駆除業者はゴキブリがよく通ると思われる場所（部屋のコーナー部分、壁、亀裂、裂け目など）にこのベイト剤を正しく施工するだけで摂食と接触の双方の可能性を高めることができ、優れた駆除効果が期待できます。また、マックスフォースFCマグナムは、施工後時間が経過しても他のジェル剤よりも水分を保持する力が高いので、喫食性が落ちることはありません。

ご愛用者の 声

バイエルの薬剤に大いなる信頼感

株式会社コダマ(香川県高松市) 代表取締役 大原洋二郎 様



私がシロアリ防除業を始めたのは21年前(昭和62年)香川県高松市で、多分新参者の一人と思いますが、私のモットーは“もう一つ工夫をしてお客の満足度を上げる”であり、おかげで少しずつではありますが年々売上を伸ばしております。

ハチクサンは発売当初、児玉商会より勧められ、CPに代わり使い始めましたが、何か頼りなさそうで果たして再発はないのかなという危惧がありました。しかし、今日に至る約十年間再発は一切なく、勿論シロアリ保険を使ったこともありません。さすがバイエルと思いましたが、非忌

避性薬剤とは凄いものだ、今では一番信頼を置いております。

現在はドミノ効果でシロアリ防除という言葉がごく普通に使われていますが、当時は何故非忌避性薬剤であるハチクサンが効くのかもひとつピンときませんでした。バイエルからはアジェンダフォームが開発され、以前使ったことのあるターミドール粉剤に優るとも劣らぬ駆除剤と考えております。

お客様のなかには使用液が普通物でも製剤が劇物では困るという人もおられることから、私は他社の薬剤も使用していますが、アジェンダMCに続き来年には普通物であるハチクサンMCも発売予定とのことで、これらのライ

ンアップを揃えられるのはさすがバイエルといわざるを得ないと考えております。

今後バイエルに期待したいことは、薬剤散布が将来もこのままの形で続くという保証はないので、業界のためにもなにかユニークで消費者も納得するような防除法を是非開発してほしいと願っております。また、このドミノのようなニュースレターを是非継続して、我々への情報提供の場としてほしいと思います。



Top News

新製品&ニュース

バイエルしろありセミナー

来年3月10日東京、11日名古屋、13日福岡、14日大阪で開催予定です。今回は特別講師として、**大阪警察病院 皮膚科部長 羽白誠先生**に『化学物質過敏症とこころの関係』、さらに**京都大学 生存圏研究所 居住環境共生分野の吉村剛准教授**に『これからのシロアリ防除法』をご講演いただきます。詳細は追ってご案内いたします。

街路樹・生立木などへの防除法

公共の立木へ加害しているシロアリ防除のため、直接シロアリ防除剤を処理すると農薬取締法違反となります!しかし、生立木の近くあるいはその木と木の間にモニタリングデバイスを埋めシロアリがヒットしたらデバイスに処理することは違法とは考えられず、また効率的な処理の仕方と考えられ、最適な剤として非忌避性で伝播効果の高いハチクサンあるいはアジェンダがあります。

ハチクサンMC、来年発売!!

ハチクサンFLをご愛用いただいておりますが、マイクロカプセル製剤が出来上がりました!耐アルカリに優れ普通物での新登場となります。カプセル化した事によりドミノ効果がよりいっそう高まることが期待できます。カプセル化により、「信頼と実績」の「ハチクサン」に新たに「さらなる安心」が加わります。

日本木材保存剤工業会 会長に就任

株式会社児玉商会の尾崎会長が永年にわたりその重責を果たされた木材保存剤メーカーで構成される工業会会長に、本年6月、弊社生活環境製品部部長の山本英樹が選任されました。尾崎会長及びこのたび同時に事務局長を退任された日本マレニット株式会社の見城専務の今までのご尽力に深く感謝するとともに、今後とも貴重なアドバイスを賜りますようお願いいたします。防除業界の発展のため、山本新会長と共に弊社生活環境製品部が一丸となり協力を惜しまぬ覚悟です。

皆様の声をお聞かせ下さい

バイエルはこれからも皆様のお役に立てる商品開発と情報発信に努めてまいります。

- 当ニュースレターは年2回の発行予定です。
- お手数ですが同封のアンケートをご返送下さい。
- 作業の安全のため、防護メガネ、マスク、手袋を必ず着用して下さい。

化学物質過敏症は精神疾患？



最近ではテレビのニュースでも取り上げられるようになってきた「化学物質過敏症」。発症した患者の方々の心身の苦しみは想像を絶する。医師の診察を受けても原因不明で、一部の専門医療機関に通院し、転地療法を繰り返したりして、社会生活にも支障をきたすほどの厄介な病気と言える。

そんな中、「化学物質過敏症は、シックハウス症候群とは違うだけでなく、精神疾患である」と言及する学術発表が行われた。これは日本住環境医学研究会（白瀬哲夫会長）が2月25日（日）に開催した第3回学術集会で発表されたものであり、集会には医学、建築関係者、工務店ビルダー、建材メーカーなど60名が参集した。

患者本人が精神疾患であることを認めず 身体疾患であることに固執する

学術集会では、欧州皮膚科心身医学会会員でもある大阪警察病院皮膚科部長・羽白誠氏が、「化学物質過敏症と精神疾患」と題する講演の中で、「海外では化学物質過敏症は、化学物質との因果関係がはっきりしていない状況では用いるべきでないとして、『本態性環境非寛容症』（Idiopathic Environmental Intolerance=IEI）と呼ばれている」と解説。これは精神科医の世界では常識的な定義であり、「現在のいわゆる『化学物質過敏症』は、精神科的・心療内科的な観点で見ると『識別不能型身体表現性障害』という病名が一番近い」（羽白氏）と述べた。

少し難しいが、この病名は、米国精神医学界の「精神疾患の分類と診断 第4版」によると、身体化障害、鑑別不能型身体表現性障害、転換性障害、疼痛性障害、心気症、身体醜形障害、特定不能の身体表現性障害の7項目に分類されている。羽白氏は、このうち身体化障害と鑑別不能型身体表現性障害が化学物質過敏症に酷似しており、「患者本人が精神疾患であることを認めず、身体疾患であることに固執することが、現在の化学物質過敏症の特徴である」と指摘した。

多彩な症状が同時かつ交差して現れる— アレルギー反応、中毒症状としても考えにくい

化学物質過敏症の症状は粘膜刺激症状、皮膚炎、気管支炎、消火器症状、自律神経症状、頭痛、発熱、疲労感など、多彩である。そしてこれらの症状が単

一ではなく複数同時かつ交差して生じる。さらに原因物質が次々と増えて行き、多くの化学物質に耐えられなくなる。「アレルギー症状であれば、原因（抗原）は一定なので、これほど多彩な症状が同時に発生することは考えにくい。中毒症状であれば、中毒量に至らなければ症状は起き

ない」（羽白氏）。アレルギー治療や中毒治療のような手法では解決されないのが化学物質過敏症の現状であると述べた。

「パブロフの条件反射」「プラセボ効果」が 作用する発症メカニズム—ポイントは「再現性」

羽白氏はさらに症状の「再現性」に乏しいこともポイントであると指摘。再現性の具体例として、「例えば床のワックスに反応し具合が悪くなった患者が、診察室に訪れてきた時に、診察室は事前にワックスがけを行っていたにも関わらず、まったく不快感を訴えないようなケース」（羽白氏）を例示。シックハウス症候群による中毒・アレルギー患者であれば、ワックスに即座に反応して症状を訴えるはず。ましてや診察室には薬品など化学物質が多数存在しているにも関わらず、患者は反応を示さない。つまり、原因物質であるワックスに対する症状の再現性がない、ということを描く。

さらに羽白氏は、このメカニズムは「パブロフの条件反射」の理論で説明できると解説。「一度地下室でホルムアルデヒドによって目が痛くなった経験をすると、次には『地下室』という条件だけで目が痛くなる」というケース。「絶対にこの地下室には化学物質がある」という確信レベルに到達すると、学習が強化されて条件反射が研ぎ澄まされてくる。

さらに「プラセボ効果（いわゆる偽薬効果）」もあると解説。アメリカの研究では32名のボランティアを2群に分けて、一方の群には実験前に環境汚染で化学物質過敏症が発症することが書かれたパンフレットを渡して情報を与え、もう一方の群には情報をまったく与えなかった。この2群にランダムに害のない2種類の空気を吸入してもらい、化学物質の有無を画面で提示した。すると化学物質過敏症の情報を与えた群の方が与えなかった群よりも、化学物質であると提示した時に訴える症状が多い結果となったという。「いかに情報によって症状の形成が左右されるかの事例である」（羽白氏）。

羽白氏は最後に「患者たちは精神疾患であることを受け入れることはなく、断固として身体疾患に固執している。一方、アレルギーを専門とする医師は精神疾患の知識が少なく、身体疾患と見なしてしまう傾向がある。心療内科的・精神科的な視点が必要だ」と述べた。



【主張】
日本の精神・心療内科を、もっとオープンに
「心の病」への偏見・差別意識の
解消がなければ問題は終わらない

「どんなにリフォームをしても全然症状が良くならない」「二軒隣の家からの料理の臭いが気になって夜も眠れない」…最初は頭が痛い、のどが痛いといった症状がきっかけになって発症するシックハウス症候群だが、医師や工務店が対応すればするほど、患者の訴えは「異常」とも言えるほど発展してしまうケースが起きている。

特にまじめにシックハウス対策や健康的な住宅を提供しようとしている工務店や建築士などが、一番悩むのが患者への対処方法かもしれない。

今回の学術集会に参加した工務店の一人は、「現在の社会状況の中で、医師が『精神疾患』だと主張することは、勇気のいること、よく言ってくれたという思いもある」と評価する。しかし、この言葉の裏を返せば、今の世の中が「精神疾患について言及してはいけない」というムードを表しているとも言える。

また別のリフォーム業者が象徴的なエピソードを話した。「あるお施主さんから長い間相談を受けて、建材を変えて数値

を測り、色々な対策を行ったが、まったく効果がない。言動も矛盾している。それがある日、突然『完治しました』と元気な声で電話が掛かってきた。事情を聞くと、どうも宗教的なセラピーに入ったらしい」。

こうした究極的なセラピーも症状が改善すれば有効であるが、いきなりそこへ行かなくても、心療サポートができる体制はないものか。オープンに通える心療内科や「今日はちょっと心療相談に行ってくる」とか言う会話が日常で違和感なく行われれば、究極のセラピーに頼るケースも少なくなるのではないか。

例えば工務店が過敏症患者に対し「精神科医に相談してください」と言えるかどうか。おそらく、訴えられるリスクもある。風邪をひいた人に、「医者に行ったら?」という問題ないのに、どうして「精神科医に行ったら?」と言うと、いけないのか。無意識のうちに存在する「体>心」という意識をなくす社会を作ることだけで、1000万人と言われる化学物質過敏症の潜在患者も救われると言ったら、飛躍しすぎだろうか…。

もちろん、発症のきっかけとなる有害化学物質を居住環境から無くして行く家づくりが必要であることは言うまでもない。誰もが「過敏症になりうる」と自覚した生活を送ることが大切であり、生活者は普段から「心>体」の意識を持つということが予防医学として重要となるのではないか。

シックハウス症候群と「化学物質過敏症」は違う

「化学物質過敏症は精神疾患である」と言った時に、一番誤解が生じやすいのが、「だったらシックハウス症候群も精神疾患になってしまうのか?」という疑問と思われる。しかしシックハウス症候群は、精神疾患の有無に関わらず原因特定が出来る症状(病気)であり、診断基準や対策方法も存在している。

簡単に言うと、シックハウス症候群は、症状が発生する原因を除去すれば、快方に向かう。例えばホルムアルデヒドの発生する居室で頭痛が発症した場合、そのホルムアルデヒドを除去するか、ないし避難すれば、症状は出ない。

しかし、化学物質過敏症の場合は、原因物質を除去しても収まらない。それがきっかけとなって、様々な場所で、化学

物質に過敏な症状を示すようになる。この段階になると、原因が特定できるシックハウス症候群ではなく、いわゆる「化学物質過敏症」と診断されることになる。今回の学術集会では、羽白氏はこれを「身体表現性障害」とであると定義し、「精神・心療内科的な治療が必要」と主張している。

現在、「化学物質過敏症」の患者数は100万人、潜在患者数は1000万人という説もある(公式統計はない)。それだけ、今の世の中には多彩な化学物質が存在し、誰もが「過敏症」になるリスクを背負っているということが言える。子供の3人に1人が何らかのアレルギーを持つとも言われる現代社会、今後ますますこの問題についての本格的な対策が求められる。

■シックハウス症候群と化学物質過敏症の鑑別(VOCによる)

	シックハウス症候群	化学物質過敏症
住環境との因果関係	住環境に原因がある	住環境以外に、大気汚染、水、食物、土壌汚染、医薬品など、あらゆる化学物質が発症原因となる
発症機序	刺激、中毒、アレルギー機序	非アレルギー性の過敏反応
量-反応関係	VOC濃度と症状は、量-反応関係が成立する	量-反応関係は成立しない
症状の再現性	原因となる家から離れると症状が軽快、消失し、戻ると症状が再現される	再現性に乏しく、矛盾があり、確認が困難である症例が多い
症状の特徴	粘膜・皮膚刺激症状が多く、精神科症状は少ない	精神科症状が前面にでる。ほとんどの患者は臭気過敏症状の傾向がある